

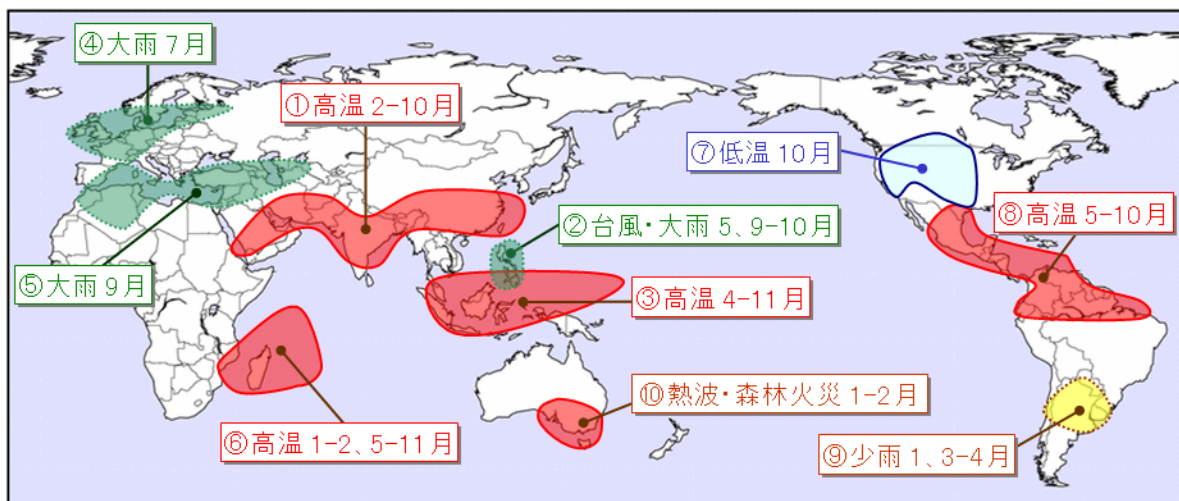
2009年（平成21年）の世界の天候（速報）

～主な異常気象と気象災害～

本資料は、世界各国からの11月までの気象通報データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は平成22年1月14日に発表します。

- オーストラリア南東部の熱波（1～2月）、フィリピンの台風による大雨（5月、9～10月）で気象災害が発生。
- 北緯30度～南緯30度の低緯度域で異常高温が多発。

2009年に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおり。



世界の主な異常気象・気象災害（2009年（平成21年）1月～11月）

異常気象や気象災害のうち、規模や被害が比較的大きかったものについて、おおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ① **中国～中東の高温（2～10月）** 中国から中東では、2月から10月にかけて、たびたび異常高温となった。中国コワントン（広東）省のコワンチョウ（広州）では2月の月平均気温21.0℃（平年差+6.2℃）、サウジアラビア北部のアルカイスーマでは2月の月平均気温19.0℃（平年差+5.3℃）だった。
- ② **フィリピンの台風・大雨（5、9～10月）** フィリピンでは、5月初めに、台風第1号と第2号が相次いで接近し、90人以上が死亡したと伝えられた。また、9月末から10月初めにかけて、台風第16号と第17号が相次いで接近し、860人以上が死亡

したと伝えられ、10月末に接近した台風第21号により30人以上が死亡したと伝えられた。

- ③ **ミクロネシア～インドネシアの高温(4～11月)** ミクロネシアからインドネシアでは、4月から11月にかけて、たびたび異常高温となった。ミクロネシアのヤップ島では8月の月平均気温29.1℃(平年差+2.2℃)だった。
- ④ **ヨーロッパ北部の大雨(7月)** ヨーロッパ北部では低気圧や前線が頻繁に通過した。英国気象局は、英国南部(イングランド)では、7月の降水量としては1914年以降で最も雨が多かったと伝えた。英国西部のカンボーンでは7月の月降水量222mm(平年比424%)となった。
- ⑤ **アラル海～アフリカ北部の大雨(9月)** たびたび低気圧や前線が通過した。トルコでは大雨による洪水で40人以上が死亡したと伝えられた。トルコ西部のバンドゥルマでは8～9日の2日間降水量が220mmに達した(9月の月降水量平年値:30.2mm)。
- ⑥ **マダガスカル周辺の高温(1～2月、5～11月)** マダガスカル周辺では、1月から2月にかけて、及び5月から11月にかけて、たびたび異常高温となった。モーリシャスのロドリゲス島では5月の月平均気温25.6℃(平年差+1.2℃)だった。
- ⑦ **米国中部周辺の低温(10月)** 米国中部周辺では、中旬を中心に北から寒気の影響を受けることが多く、ミシガン州などでは低温による農作物への被害が伝えられた。米国サウスダコタ州のラピッドシティでは月平均気温3.7℃(平年差-5.4℃)となった。
- ⑧ **中米～南米北部の高温(5～10月)** 中米から南米北部では、5月から10月にかけて、たびたび異常高温となった。ベネズエラのカラカスでは9月の月平均気温26.5℃(平年差+3.7℃)だった。
- ⑨ **アルゼンチン北部周辺の少雨(1、3～4月)** アルゼンチン北部周辺では、1月、3～4月は少雨傾向で、異常少雨となる月もあった。アルゼンチン北部のコルドバでは4月の月降水量3mm(平年比5%)となった。
- ⑩ **オーストラリア南東部の熱波・森林火災(1～2月)** オーストラリア南東部では1月末から2月初めに異常高温となった。また、同地域は少雨傾向が続き、ビクトリア州では大規模な森林火災により180人以上が死亡したと伝えられた。オーストラリア南東部のメルボルンでは、1月の月降水量が1mm(平年値:46.1mm)で、日最高気温は1月28～30日に43℃を超える日が続き、2月7日には46℃に達した(平年では日最高気温は約26℃)。

※ 異常気象:ここでは、月平均気温や月降水量において、その地点として30年に1回程度以下の稀な値のことを指す。

※ 災害の被害情報:国連の災害データベース(EM-DAT)や国連の報道機関(IRIN)、各国の政府機関の発表等に基づいている。

※ 気象庁ホームページでは週ごとや月ごとに世界の天候の資料を更新している。

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/>

[この件に関する連絡先:気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 03-3212-8341 内線3157]